



3 . フォルダの削除 (sProp=2 の場合)

まず、標準ファイルを列挙し、Dir() 関数が 空の文字列(“ ”) を返すまで Loop ルートの標準ファイルを全て削除する

DelFldr :

次に、Dir(,vbDirectory) でディレクトリをリストアップ

自分自身と親ディレクトリしかなかったら、まず 自分自身を削除

次に、親ディレクトリをチェックして、空だったらそのディレクトリも削除

再帰的に、親ディレクトリをチェックして空だったら削除する

子ディレクトリがあったら、Sub RecurseTree に戻ってディレクトリの列挙をして、削除する